

作成日:

2013年2月25日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: アビシテムフロアブル
 会社名: 株式会社理研グリーン
 住所: 〒110-8520 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 8階
 担当部門: 研究開発部企画開発課
 電話番号: 03-6802-8587
 FAX番号: 03-6802-8303

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分外
	水生環境有害性(慢性)	区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物
 農薬の種類名: エトベンザニド水和剤
 有効成分の化学名と分子式: エトベンザニド: 2',3'-ジクロロ-4-エトキシオキシベンズアニリド

化審法整理番号: エトベンザニド:(7)-1710
 エチレングリコール:(2)-230

成分及び含有量

成分	含有量	PRTR法	安衛法	毒劇法	CAS番号
エトベンザニド	35.0%	非該当	公表(名称通知)	非該当	79540-50-4
エチレングリコール	5.0%	非該当	公表(名称通知)	非該当	107-21-1
界面活性剤等	7.0%	非該当	公表	非該当	
水	53.0%	非該当		非該当	

4. 応急措置

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗浄する。気分が悪い時は直ちに医師の診療を受ける。

皮膚に付着した場合: 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を多量の水と石鹼で良く洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。

応急措置をする者の保護: 救助者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグル、マスクなどの保護具を着用する。汚染された衣類や保護具を取り除く。

5. 火災時の措置		
消火剤		消火には水噴霧、粉末消火薬剤、二酸化炭素、水溶性液体泡消火剤、乾燥砂などを用いる。
火災時の特有の危険有害性		当該製品は分子中に[N、ハロゲン]を含有しているのため火災時に、刺激性もしくは有毒なガスを放出するので
特有の消火方法		消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。消火作業は風上から行い、火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火を行う者の保護		消火のための放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。消火の際は必ず保護具を着用し、燃焼または高温により有毒なガス(一酸化炭素、窒素酸化物、ハロゲン化合物のガス等)が生成するので、呼吸保護具を着用する。消火活動は風上から行い有毒ガスの吸入を避ける。
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項		室内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護マスク保護衣等を着用すること。
環境に対する注意事項		環境への放出は避けること。
除去方法		漏出物を吸着剤(おがくず・土・砂等)で吸着させ取り除いた後残りをウエス・雑巾等によく拭き取る。漏出物を回収すること。廃棄は内容物・容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
7. 取り扱い及び保管上の注意		
取り扱い		眼、皮膚、衣類につけないこと。換気の良い場所で取り扱う。適切な保護具(保護衣、保護眼鏡保護マスク、保護手袋等)を着用する。作業後は、手、顔などを良く洗う。
保管		容器を密閉し換気の良い冷暗所に施錠して保管する。可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。
8. 暴露防止及び保護措置		
設備対策		局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具		保護メガネを着用する。他状況に応じた適切な保護具(防塵マスク、保護衣、ゴム手袋等)を着用する。
9. 物理的及び化学的性質		
外観:		類白色水和性粘ちよう懸濁液体
比重:		1.11
pH		7.7
引火点		データ無し
10. 安定性及び反応性		
安定性		通常の貯蔵・取り扱いにおいて安定である。
危険有害反応性		情報無し
避けるべき条件		情報無し
混触禁止物質		情報無し
危険有害な分解性生物		燃焼により一酸化炭素、窒素酸化物、ハロゲン化合物のガス等が発生する恐れがある。
11. 有害性情報		
急性経口毒性	ラット	>2000mg/Kg
急性経皮毒性	ラット	>2000mg/Kg
眼刺激性試験	ウサギ	刺激性なし
皮膚刺激性	ウサギ	刺激性なし
皮膚感作性	モルモット	皮膚感作性なし
特定標的臓器毒性(単回暴露)		情報なし
特定標的臓器毒性(反復暴露)		情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性 水生環境有害性(急性):区分1(緑藻類への有害性)

コイ Lc50(96hr) 1000mg/L

オオミジンコ Ec50(48hr) 110mg/L

緑藻類 ErC50(0h-72h) 1000mg/L

13. 廃棄上の注意

空容器を廃棄する場合は、内容物を使いきった後に適切に処理する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を確実に。転倒、落下、破損がないよう積み込む。

15. 適用法令

* 農薬取締法

農薬登録番号23148

* 労働安全衛生法

エチレングリコール;施行令第18条の2[名称等を通知すべき危険物-番号75]

* 化審法

エトベンザニド;整理番号:(7)-1710

エチレングリコール;(2)-230

* 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進に関する法律(PRTR法)

* 消防法

エチレングリコール;第2条危険物第4類第3石油類水溶性液体

* バーゼル法

エチレングリコール;第2条特定有害廃棄物等

* 海洋汚染防止法

エチレングリコール;施行令別表第1有害である物質

16. その他の情報

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成した一般的取り扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。ヒトに対する危険、有害性の評価はかならずしも充分ではありませんので取り扱いには充分注意を払ってください。